

■實川延若(初代) 歌舞伎役者。転変の後、延若を名乗り、中村宗十郎と人気二分、明治前期の大阪劇壇を背負って立った。

じつかわえんじゃく

富嶽三十六景1831＝ 大坂で、大工職の子に生まれる。一説に伯耆藩家老の落胤。

天保大飢饉始1833＝ 2歳：道頓堀の芝居茶屋〔河庄〕の養子となり、

大塩平八郎乱1837＝ 6歳：

適塾ホヰン・ 1838＝ 7歳： 2代実川額十郎に入門し、延次を名のる。

勲進帳初演・ 1840＝ 9歳： 京都南座で初舞台。

天保改革始・ 1841＝10歳：

順天堂始・ 1843＝12歳：師が実川延三郎になった後も従い、延二郎を名乗る。

阿部正弘首座1845＝14歳：

3代市川荒五郎らとくんで北陸や伊勢路の旅まわりをしたが、いつも金にこまって着物にも不自由していたところから裸の延次の異名をとったという。

北斎没・ 1849＝18歳：

ペリー来航・ 1853＝22歳：

開国開港・ 1854＝23歳： 実家を離縁され、叔父の尽力で、6代市川九藏(7代市川団藏)らと江戸に行き、

松下村塾・ 1856＝25歳： 初代中村福助(4代中村芝翫)の門にはいり延雀と改名したが、4代尾上菊五郎に見込まれ、

五ヶ国条約・ 1858＝27歳：

安政の大獄・ 1859＝28歳： 養子となり、尾上梅幸を継ぐ。

桜田門外変・ 1860＝29歳： しかし、菊五郎の死によって不縁となり、大坂に帰って、実家と復縁、

遣欧使節・ 1861＝30歳： ふたたび実川延次郎となり、

8月18日政変 1863＝32歳：さらに、*筑後の芝居(浪花座)で師匠2代実川額十郎の俳名を芸名として初代延若となる。

以後は主として同座に出演して地歩をかため、

大政奉還・ 1867＝36歳：

明治維新・ 1868＝37歳：

学問のすすめ1872＝41歳：*座頭となり、

明治6年政変 1873＝42歳：

中村宗十郎・4代嵐璃寛と“道頓堀の三羽鳥”と称される。

三つの内乱・ 1876＝45歳：

西南戦争・ 1877＝46歳：

中肉中背でシャクレ顔、声柄も悪かったにもかかわらず、上方風の派手で技巧的な演技が独特の情と柔らか味を出し、あふれるような色気で観客を魅了した。師匠ゆずりの上方和事が本領で、知遇を受けた8代片岡仁左衛門や2代嵐璃珪を手本にしてみずから工夫案出したもので正鴨風とよばれ、とくに‘知ら一んがな’などとせりふの一字を長くのばす言いまわしは大阪中で大流行したという。

明治14年政変1881＝50歳：

晩年は、鉛毒症で体調を崩し、

内閣発足・ 1885＝54歳：*大阪戎座「島?浪此花」の徳川家慶役を最後に、没した。